

『魚津の蟹気楼観光客』の思いと『しんきろう見させ隊』の思い

高山洋昭（魚津蟹気楼研究会、しんきろう見させ隊）

『しんきろう見させ隊（以下、見させ隊）』として、観光客と接し感じた事を紹介します。

私は、見させ隊が活動し始めた2010年の5月5日（Cランク）の蟹気楼を見て、蟹気楼に魅了されました。そこで、魚津蟹気楼研究会に入会し、当時の会員の方から、蟹気楼の写真や、見える理由、条件などを教えてもらいました。

見させ隊として長年活動する中で、蟹気楼観光に来られる方の様子の変化を感じました。それは、旧来は情緒ある観光客が多く、見させ隊としての説明も効果的だったと考えていますが、現在は情緒がなくなってきたのではと考えています。

具体的に紹介すると、見させ隊となった当時は、魚津の蟹気楼観光客に対して蟹気楼が見える条件や、見える向き、見える景色などを写真で見せ、十分な説明を聞いてくれる方が多かった。さらに、説明を聞いた後に、なぜ映ったように見えるのなど質問される方がおられました。

一方で、現在の魚津の蟹気楼観光客は、あまり説明を聞いていただけず、ただ魚津の海沿いに来ると見られるものという考え方をされる方や、何時が良いのか？と短期な方が多いのではと感じています。

今後も、『しんきろう見させ隊』として蟹気楼の紹介や観光案内を続けるとともに、魚津蟹気楼研究会、日本蟹気楼協議会とも連絡を密に取りながら蟹気楼の理解を深め、解説のレベルアップを目指していく所存です。